



校 門 の 坂

山田小学校 学校便り 令和6年度第7号 1月30日発 文責 校長

【山田小学校HP <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1363/> 是非御覧ください！

もっと知りたいと思う授業を重ねていきたい！

先週、6年生の社会科の授業を見ました。歴史で「太平洋戦争」について学んでいました。子供達は、教科書を読んで感じたことやもっと調べたいと思ったことを課題に設定して、一生懸命調べて、分かったことを上手にまとめていました。時間はあっという間に過ぎ、なかには、まとめている途中で45分間が終わってしまった子もいました。沖縄戦で起こった「ひめゆり学徒隊」の悲劇や特攻兵の悲劇について、学ぶ時間はこの1時間で設定されており、全てを学ぶには、時間が少ないと感じます。そこで、本校では、戦争体験者を講師に招いて平和学習をしたり、修学旅行で特攻平和会館を見学し、学ぶ機会を設けてたりしています。しかし、日々の授業の全て、全ての教科でそんなふうに補うことは難しいです。授業では、「もっと知りたい」という知的好奇心を引き出して、自分の時間を使って深めてくれるといいなと思っています。

もっと知りたいと思う気持ちを自分で取り組んでほしい！

学校で興味を持ったことを、家庭の団らんの時間で子供達が話してくれるとさらにいいですね。そして、その話題について家族で話したり、「自分で調べてみたら」とか「調べてまた教えてよ」等と促して下さったりすれば、良い家庭学習のきっかけになるのではないのでしょうか。外食や家族旅行ももちろん大切な時間ですが、そうした家族団らんの中での会話は、子供達にとって、とても貴重な時間になると思いますよ。

予習はこんな感じで取り組んでみては？

ここからは、校長おすすめの家庭学習を紹介したいと思います。今回おすすめするのは、「予習」です。明日学習することを事前に見ておくことが予習ですね。確かに大切な学習ですが、私は、小学生のうちは、あまり予習は重要ではないと考えています。どちらかという、復習の方が大事で、予習対復習の割合は、3：7あるいは2：8でもいいと思っています。

予習する意味は？

では、小学生とする予習とは、どんなもののでしょうか？私個人としては、「時間割を見て、明日勉強するところを読んでおく、見ておく」程度のことだと思います。時間割を見て、明日の準備をすることは、とても大事な学習習慣です。これは、絶対させてください。その時に、「どんな内容かな？」と教科書を見てみる。読むのが好きな子は、読んでみる。これで十分予習だと思います。特に効果的なのは、図工です。図工は軽く思われがちですが、創造力や空間認知を育てる上では、大変重要な学習です。「明日は、何を描くのかな？何を作るのかな？」とか「準備物は何かな？」と考えるのは、立派な予習だと考えましょう。

こんな予習が効果的！

予習で大切なのは、とにかく「気軽なこと」です。がっつりと取り組んだけど、急な要因で時間割が変わってしまったら、だれでもがっかりすることでしょう。変更になっても気にならない程度の軽い取組が大事です。なので、おすすめの予習は、次の2つです。

- 明日の準備をするついでに教科書を見る。教科書を読んでおく。
- 教科書を読んで疑問に思ったら、家族に聞いてみる。準備物で悩んだら、家族に相談してみる。（特に低学年の図工では重要です。）

これは、まさに学習に臨む準備です。この準備ができていれば、学習効果もあがるのです。

